# 第13回品質保証検討会　議事録

1．日時　平成18年6月7日（水）　13:30～16:30

2．場所　日本電気協会　4階D会議室

3．出席者（敬称略，五十音順）

出席委員　：渡邊（邦）主査（東京電力），溝内副主査（関西電力），伊東（三菱原子燃料），大友（東北電力），大野（中国電力），小宮山（グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン），齋藤（三菱電機），佐々木（日本原燃），佐藤（東芝），芝原（日立製作所），島津（北海道電力），首藤（電源開発），鈴木（中部電力），高橋（富士電機システムズ），竹添（九州電力），辰巳（北陸電力），古川（日本原子力発電），宮越（三菱重工業），宗像（原子力安全・保安院），米田（原子燃料工業），渡辺（雅）（原子力安全基盤機構）

代理委員　：石井（日本原子力研究開発機構　渡邉（勝）代理），竹本（東京電力　大石代理）

欠席委員　：飯塚（東京大学），今村（三菱重工業），岡野（九州電力），長谷部（原子力安全・保安院），増田（四国電力），結城（原子力安全・保安院）

事務局　　：池田，長谷川，国則（日本電気協会）

4．配付資料

資料No.13-1　　第12回品質保証検討会　議事録（案）
資料No.13-2　　原子力規格委員会　品質保証分科会　品質保証検討会委員名簿
資料No.13-3-1　JEAC4111普及のための講習会　実施概要（案）
資料No.13-3-2　講習会実施検討スケジュール(案)
資料No.13-3-3　第13回　品質保証検討会での論点整理メモ
資料No.13-4-1　「JEAC4111調達管理」検討チーム作業状況報告メモ
資料No.13-4-2　工事に係る主要業務と品質保証活動の概要
資料No.13-5-1　IAEA QAコードの評価　タスクチーム
資料No.13-5-2　IAEA安全要件(GS-R-3(DS338 Draft10):施設及び活動に関するマネジメントシステム)に対するJEAC4111の対応状況
資料No.13-6-1　不適合の原因分析実施ガイドライン（議論用素案）
資料No.13-6-2　JEAG4121に追加すべき事項（飯塚先生案）

参考資料No.1　原子力規格委員会　品質保証分科会　活動計画（平成18年度）
参考資料No.2-1 第1回　普及促進チーム打合わせ議事録
参考資料No.2-2 7月26,27日　エキスパート研修「テーマ」
参考資料No.3　「JEAC4111調達管理」検討チーム（第1回）議事メモ（案）
参考資料No.4　IAEAコード評価タスク　議事録（案）

5．議事

(1) 代理委員の承認と会議定足数の確認

渡邊（邦）主査による代理者の承認後，事務局より，出席委員数が議案決議の条件である委員の3分の2以上という，定足数を満たしていることが確認された。

(2) 第12回品質保証検討会　議事録（案）について

事務局より，資料No.13-1第12回品質保証検討会議事録案が紹介され，5．(5-2)のタイトルを調達管理に係わる検討とし，合わせて本文を適宜修正することで正式な議事録とすることが全員の賛成で承認された。

(3) 品質保証検討会　新委員候補，退任委員について

資料 No.13-2 に基づき，事務局より品質保証検討会の新委員候補，退任委員が紹介され，本内容で7月7日開催の第16回品質保証分科会に提案することが全員の賛成で承認された。

(4) 平成18年度品質保証分科会活動計画

(4-1) 講習会等普及計画について

普及促進チームリーダの米田委員より，資料 No.13-3-1～13-3-3 に基づき，チームの活動状況と共に講習会等普及計画についての説明があり，No.13-3-1，13-3-2の内容に以下の議論内容を踏まえた修正を施し，第16回品質保証分科会に提案することが，全員の賛成で承認された。

本件に関する主な議論の内容は以下のとおり。

- H18年度のコースⅡ講習会は，10月18，19日に今年3月と同じタイム24ビルセミナールーム1＋2で，来年1月に大阪で開催する。なお，誰が講師を務めるかについては，チームで原案を作成する。
- 第16回品質保証分科会の開催後，まず分科会委員経由で受講者を募集し，その後定員に余裕があれば，一般からも募集する。
- 将来的なコースⅡ講習の構想については，従来案の外部講師の利用に加えて，講習ビデオの製作やCGを利用したインタラクティブな教材の製作も含めて，継続検討とする。

・ 7 月 26, 27 日に開催する検討会委員対象のエキスパート研修は，検討会の一環との位置付けであり，修了書は不要とする。研修内容についての提案があればリーダにメールで通知する。

(4-2) JEAC4111 調達管理検討チームの活動状況について

JEAC4111 調達管理検討チームリーダの齋藤委員より，資料 No.13-4-1，13-4-2 に基づき，チームの活動状況の説明があった。

本件に関する主な議論の内容は以下のとおり。

・ 具体的な活動目標のひとつとして，「品質保証仕様書雛形」の作成が挙げられているが，雛形とするか，そのまま使用できるものとするかは，今後の検討事項とする。
・ 事業者と供給者間の調達を想定して検討を行うが，その結果は，部分的な修正を施せば，供給者と二次供給者間の調達管理等にも利用可能と考えられる。
・ 第 2 回目の WG は，最近の調達管理のトラブル事例を検討するので，良い事例があればリーダに連絡する。

(4-3) IAEA コード評価タスクチームの活動状況について

IAEA コード評価タスクチームリーダの鈴木委員より，資料 No.13-5-1，13-5-2 に基づき，チームの活動状況の説明があった。

本件に関する主な議論の内容は以下のとおり。

・ 資料中の和訳は，原子力安全研究協会で翻訳され，原子力安全基盤機構から提供されたもので完成度は高いが，すでに国からのオーソライズを受けたものではない。
・ 本 IAEA コードの直接の対象は事業者や規制であり，それらの活動を通じて，供給者なども副次的に対象に含まれることになると思われるが，今後さらに検討する。
・ IAEA の適用範囲は広範囲であるが，JEAC4111 への反映の観点では，原子力施設を対象に検討する。そのため，原子力施設に特化したガイド（DS339）を参照しなければ理解が深まらない場合，これも検討対象とする。

(4-4) チームの構成メンバについて

各チームへの，検討会委員以外の方の参加可否について議論し，以下の方針を確認した。

・ 原則として検討会委員を構成メンバとするが，検討内容に応じて，外部の専門家の参加も可とする。
・ 検討会委員代理者の永続的な参加は原則不可とするが，検討内容への貢献が期

待できる代理者については，当該チームの了承を得ることを条件に参加可とする。

(4-5) 活動計画の修正内容について

渡邊（邦）主査より，資料No.13-6-1，13-6-2に基づき，H18年度の活動計画に追加された，JEAG4121 の原因分析に係わる記載充実の検討について説明があった。この活動の担当者は以下のとおりとし，また外部の専門家の参加予定があることを確認した。

担当者：渡邊（邦）主査（リーダ），伊東委員，齋藤委員，首藤委員，竹添委員，竹本委員，溝内副主査，宮越委員，宗像委員，渡辺（雅）委員

本件に関する主な議論の内容は以下のとおり。

- JEAG4121の改定は，H18年度中に改定案を分科会として承認するスケジュールを目標とする。
- 検査の在り方に関する検討会での，根本原因分析強化の議論を踏まえて，事業者が使用するための指針を充実するものである。なお，原因の特定はすでに規格要求に含まれているので，JEAC4111の記載の修正は不要と思われる。

(5) その他

次回検討会の開催日程は，追而調整のうえ決めることとした。

以　上